

オーストラリア金融政策（2025年2月）

利下げ開始、だが早期の追加利下げには慎重な姿勢

2025年2月18日

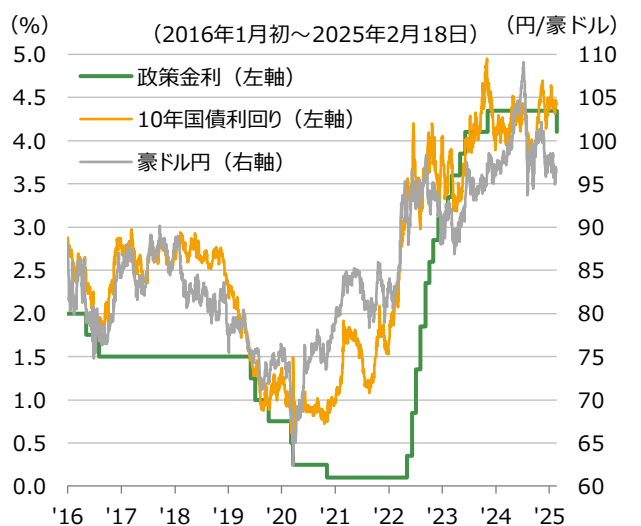
インフレ率と失業率の見通し改善でソフトランディングの確度が高まる

RBA（豪州準備銀行）は2月17日（現地、以下同様）から18日に開催した理事会において、政策金利を4.35%から4.10%に引き下げることを決定しました。1月29日に発表された昨年10-12月期の消費者物価指数（特に、基調的なインフレ動向を示すトリム平均値）が市場やRBAの予想を下回ったことで、今会合における利下げ観測が高まっていたため、利下げ決定にサプライズはありません。

一方で、今後の追加利下げには慎重な姿勢が示されました。その背景には、想定以上に労働市場が堅調に推移していることなどがあるようです。今回は四半期に1度の経済見通しが更新される会合であり、今年の消費者物価指数の予想だけでなく、見通し期間の失業率の予想も昨年11月時点から下方に修正されています。これは経済のソフトランディング（軟着陸）実現に向けた確度が高まったことを意味し、景気悪化で大幅な利下げが必要になる可能性は低いことを示唆します。RBAは景気を熱しも冷やしもしない中立金利を3%台半ば前後と推計しており、この水準が利下げ到達の目処になるでしょう。また、来年の消費者物価指数の予想が上方修正されていることも考慮すると、利下げペースはかなり緩やかになりそうです。

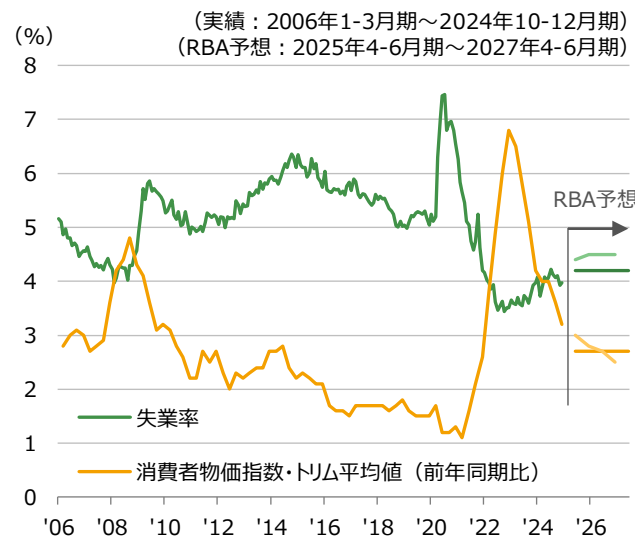
今会合での利下げ開始は当社の想定通りであり、追加利下げに慎重なRBAの姿勢も違和感がないため、当社は引き続き今年末と来年末の政策金利を各3.85%、3.60%（来年末までに残り0.5%ptの利下げにとどまる）と予想しています。利下げ余地の乏しさは、豪ドルの下支え要因になると考えられます。

豪州の金利と豪ドル円



※10年国債利回りとは為替は2025年2月17日まで
 ※政策金利は発表日ベース (出所) ブルームバーグ

豪州の失業率とインフレ率



※RBA予想の薄線は昨年11月時点（2026年10-12月期まで）
 ※失業率の実績は月次データ (出所) 豪州統計局、RBA

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。